

## SEANET バンガロール エピソード記

JE3BEQ 宮本 誠一



3回目のSEANET参加で大分ましにはなったが、まだ参加者の皆さんの顔とコールサイン、名前の一致に不安があるので、正式レポートは遠慮して例年通りエピソードをご紹介します。

### タイ(鯛・Thai)で海老を釣る

我々一行5人が意気揚々と関空を出発し、乗り継ぎのためバンコック国際空港で休息を取っていたときのお話。三好(JA3UB)さんが、前回の海外旅行で残ったドルを使って皆にご馳走するからと、気前よく払って頂くことになった。皆恐縮して三好さんに心からお礼を言ったら、「海老で鯛を釣ったので、お後宜しく」と何時ものように返されてしまった。皆してやられたと思ったら、島(JA3AA)さん、「それ、タイ(Thai・鯛)で海老を釣ったのではないの!?!」、一同拍手、三好さん「・・・」。



### SEANET レスキュー隊

16時からレジストレーション開始の予定であったが、主催者の状況を見たいと思い一時間前に受付の部屋に行ったら、準備はほぼ出来上がっていた。参加者はまだ誰も来ていなかったため、主催者に取り囲まれての挨拶となった。Gopal(VU2GMN)さんとChandru(VU2RCR)さんに囲まれて歓談していたところ、Prathap(VU2POP)さんが来て何か言って許可を求めているようであった。直後に制服を着たホテルの営繕係と一緒に廊下の壁を鋸と金槌を使って壊し始めた。直すために壊すにはインド人は荒っぽいことをすると思ったが、次の瞬間状況が読めた。なんと子猫が閉じ込められているという。20分後に子猫は無事救出され



た可愛い彼女の弟も愛嬌を振り撒いていた。横には綺麗なお母さんもいて、上品な振る舞いで素敵な家族だなあと考えていたら、そのお父さんがGovindさんであった。そして自分の子供達が皆に注目されている姿が大変満足のように、彼自身も一曲歌って遠来の我々にサービスした。

Prathapさんに抱かれたが、我を忘れた可愛い子猫は彼を強く噛んで一目散に逃げ去った。全員がこの一瞬を拍手して喜んだ。私はこの美談を夜のウェルカムパーティーの時皆に披露したが、翌朝パキスタンでの大地震が起こったのである。従ってこのレスキューの話は人々の誤解を避けるため二度と口にしなかったが、当事者の彼等からはぜひこの美談の写真を送って欲しいと頼まれた。



### 雨の中の太鼓ダンス

イブニングパーティーは趣向を凝らした野外舞台が設定されていたが、生憎雨がやまず屋根付きのテラスに後退して、雨の吹き込みを避けながらのインドの太鼓ダンス鑑賞となった。外の雨に濡れて光るSEANET看板とダイナミックな踊りが調和して、ホテルの従業員も一緒に堪能した。最後には子供の一隊がなんと雨の中に繰り出して踊り圧巻となったが、それを大人の踊り手もテラスの中から観て拍手を送っていた。多分自分の娘や息子が踊っているのを見守っていたのではと想像した。



### Govind(VU2GGM)さんとその家族

宴会前に皆でグラスを傾けて歓談している時、突然怒声が聞こえてきた。Govindさんがホテルの従業員と採め合いになり掴みかかろうとしていたが、すかさず事務局のメンバーが止めに入って収まった。屋間の観光バスでは隣り合わせになり話をしていたが、短気な人で要注意かなと疑った。その後可愛い女の子がインドの唄を歌ったのを口火として宴会が始まり、これま

た可愛い彼女の弟も愛嬌を振り撒いていた。横には綺麗なお母さんもいて、上品な振る舞いで素敵な家族だなあと考えていたら、そのお父さんがGovindさんであった。そして自分の子供達が皆に注目されている姿が大変満足のように、彼自身も一曲歌って遠来の我々にサービスした。



### 全員参加の唄と踊り

海外からの参加者が少ないとの話もあり少しでも盛り上がり協力できたらと、念のため千曲川(ワルツ)、お嫁において(ジルバ)、上を向いて歩こう(ボックス)の歌詞と伴奏のCDを用意しておいた。案の定ご指名がかり全員が立って歌う人・踊る人になって貰ったが、Dr. Ken(9M2KN)さんは、唄ばかりでなくジルバも踊って引き立ててくれた。その後例の女の子がお返しの唄をもう一曲披露し、男の子も歌った。私は彼にLEDが光る手作りの指揮棒をプレゼントしたら大喜びであった。

### Dr. Ken(9M2KN)さんとの再会

何時しか彼とは、スケジュールが終わって一緒に飲むのが恒例となった。何時もは開け放した扉の彼の部屋に何人か集まるのだが、今回は私の部屋番号を聞いてきた。まあそんなこともあるかと取って置きの焼酎「100年の孤独」を用意していたら、早速Ponwat(HS1XIM)さんを連れてやって来た。去年に比べて余りに寂しいので、気の毒ではあったが既にベッドに入っていた隣の荒川(JA3AER)さん呼び出し、話が弾んだ。Kenさんは彼のために持ってきたこの焼酎を美味しいと言ったが、アルコールそ



# インド・バンガロール散見

JA3UB 三好二郎



のものです。強すぎると少なめに入れた私のグラスと取り替えてしまった。やっぱり日本の焼酎は半端ではない。不思議なのは彼

が連れてくる相棒は、なぜか全然飲まない。Ponwatさんもそうだし、一昨年のジョホールバルのJani (YBOUS)さんも全然飲まない。ひょっとしたら私が数少ない彼の飲み友達なのかなあ？

## Ponwatさんとバンガロールの空港で

我々一行はフライトの都合で一日余分の時間ができたので、その日の午後をバンガロールのバス観光に当て目一杯楽しんだ。時間も迫っていたのでインドのお土産は搭乗口に落ち着いてから買うつもりでいたが、欲しいものが何も無い。仕方が無いので軽食コーナーにあった営業用のバンガロール製クッキーの缶詰をあるだけ買い占めた。その時Ponwatさんが同じ便に乗るべくやってきて再会となった。言い忘れたが、彼と話しをすと漫才で話しかけられているようで、吹き出さずにはいられないような陽気な人である。本人は真面目かも知れないけれど？ 私はしんみりと土産を買い忘れたことを言ったようだが、彼は即座に心配要らないよと言って、自分の土産物のダーズリンティー二つを私にくれた。去年は会って挨拶しただけであったが、今年は又いい友達が増えた。このことは後でKenさんの知るところとなり、「気持ちの通じ合える友達が出来て良かったな」とメールが届いた。これだからSEANETは止められない！来年も大阪で、こんな気持ち

第33回SEANETコンベンションがインドのIT都市といわれているバンガロールで開催されたので、来年に我々が大阪での第34回のコンベンションのホストを務めることもあって10年ぶりにインドへ出かけた。バンガロールへは何処を経由しても欧米へ行くよりも時間的には遠く感じるところである。

日本のタクシー事情は世界的に誇れるレベルにあるが多くの国ではタクシーを利用するにはコツがある。そこはお手のものなので安く快適に空港からセダンのタクシーでホテルまで行くことができたが、参加者の中には不愉快な思いをした上に4-5倍の料金を取られた人達もいた。一般のタクシーはミニバイクを3輪車にしたもので燃料はLPガスを使っている。

コンベンション終了後の帰国便は夜の出発なので、半日バスツアーをすることにした。地理不案内なのでホテルからバスターミナルまで2台の3輪タクシーに分乗して行くことにしたが、これが曲者で案内の定、しばらくは連なって走っていたがバラバラになりドライバーが「バスターミナルはこの通りの向こうで、ここから歩いていったほうが早くいける」と停車した場所は交通渋滞の真ん中で釣銭も持っていないと言う、お決まりのパターンで、もう1台のタクシーの行方も気になるので釣銭を受け取らずに下車した。こんなときのためにトランシーバー

を持ってお互いに連絡が取れるようにしているが今回はその用意をしていなかった。やはりいつものように携帯用のトランシーバーを持ち歩くべきであった。別のタクシーのJA4HCK馬場さんJE3BEQ宮本さんと無事に合流してバスターミナルらしきものを見つけバス出発時刻ぎりぎりに観光バスに乗り込んだ。インド各地から来た観光客？で満席のバスは我々4人だけの日本人を加えて、科学技術博物館、王宮、植物園等を巡回し、夫々の場所で自由に楽しい時間を過ごしたが交通渋滞などの為にホテルへ戻る予定時間が大幅に遅れそうになったのでホテルで休んでいるJA3AER荒川さんに連絡しようと持参の携帯電話をダイヤルしたがアクセスできないのでバスが立ち寄った土産物屋で電話を借りた。同じバスのインド人の観光客が買い物をしてるし、こちらも義理で買い物とを考えていたらJA3AA島さんも何か土産を買おうと言われたので、それではと値段交渉をしつこくやってこちらの勝ち、バスガイドに我々日本人は時間の都合で団体から離脱する旨を告げて1台のミニ3輪タクシーに4人が折り重なって乗車ホテルへ戻った。この地のホテルもピンからキリで1泊US20\$から700\$位である。肝心のSEANETコンベンションの様子はJE3BEQ宮本さんの記事を御覧願うことにして番外編を終わらせていただく。



## 一枚の写真から 4U1UNの巻

JA3AER 荒川 泰蔵

米国滞在中に国連の職員であるHB9RS, Maxと知り合ったお蔭で、国連局4U1UNを何度となくゲストオペらせて頂く機会を得た。写真は1988年6月18日から19日にかけて、ニューヨーク、ニュージャージー在住の日本人ハムが集って運用したときのものであり、私にとっては28回目にあたり、これが米国滞在中の最後の運用であった(その後1993年7月に旅行でニューヨークを訪れた時にも運用させて頂いたが)。このときは管理者の一人であるK2GM, Daveが付き合ってくれ、7MHz、14MHz、21MHz、28MHzのSSBでQRV、多くのJA局ともQSOできた。





# Asia Pacific DX Convention

Nov. 18 - 20

## the Asia Pacific DX Convention

### Nov. 18, 2005 (Fri)

09 00	Icom factory tour
16 00	
16 15	Electronics Town Tour
17 30	
18 00	Registration
19 00	Welcome party
21 00	

### Nov. 19, 2005 (Sat)

09 00	Kyoto Tour	You are welcome to operate JI3ZAG
17 30		
19 00	Dinner	
21 30		

The registration fee does not cover the colored programs.

### Nov. 20, 2005 (Sun)

09 30	Opening announcement
09 45	FT5XO by 9V1YC Premier show of FT5XO video
11 00	Coffee break
11 15	Big guns in Russia by UA3AB
12 00	Russia DX Contest by RA3AUU
12 15	Lunch hour
13 30	Low band antenna by ON4UN
14 20	Break
14 30	Asia Pacific Sprint by VR2BG
15 00	Break
15 10	St. Peter I by K4UEE
16 00	Coffee break
16 20	
17 30	Closing event

Osaka I-House Radio Club invites you to the first ever International DX Convention in the Asia Pacific region. Many DX-ers and contesters are gathering not only from Asia and the Pacific region, but from all over the world. Enjoy exciting presentations of major DX-peditions in 2005 by the expedition members, stories of world-leading contest groups, technical seminars and more. Osaka-based Icom invites you to their HF radio factory tour and Q&A sessions with Icom radio design engineers.

**Newsletter**  
<http://ja3.net/ihouse/html/nl.html>  
 会報を自由にダウンロードすることができます

**Web:** <http://ja3.net/ihouse>

**Rollcall**  
 Every Saturday 00:00UTC @14.155MHz

**Monthly meeting**  
 at International House Osaka  
 on the 2nd Friday of each month

Hurry up to make your registration from our web site: <http://apdx.org/>